

基本目標		基本施策		指標		現状値 (令和4年度実績値もしくは公表値)		令和7年度(速報値もしくは公表値)	目標値	令和7年度健康推進課の主な取組状況	令和8年度の健康推進課の主な取り組み予定
健康寿命						男性	81.64歳	81.32歳	上げる		
						女性	83.1歳	82.90歳			
1	健康的な生活習慣の実践に向けた取り組み	1 運動やスポーツを通じた健康づくり	運動習慣者(週2回以上)の割合	45.5%			上げる	・多摩府中保健所や多摩精神保健福祉センターの協力を得ながら、未達者支援モデル事業を実施するとともに、医療機関や警察・庁内及び市内関連部署等と情報交換・関係機関連携の構築を図った。	・自殺対策において、警察や近隣の医療機関、関係機関との連携強化を図る。 また、健康推進課で実施する健康教育や講演会において、ゲートキーパー研修を含む自殺対策を意識したところの健康づくりの要素を盛り込み周知啓発に努める。		
			運動やスポーツをしている子どもの割合	66.7%			上げる				
			睡眠時間が6～9時間(60歳以上については、6～8時間)の者の割合	57.0%			上げる				
			ゲートキーパー養成講座参加者数	381人		365人	上げる				
			中学生・高校生の飲酒の割合	8.7%			0.0%				
		2 休養とこころの健康づくり	20歳以上の喫煙の割合	11.9%		11.70%	6.1%				
			中学生・高校生の喫煙の割合	0.9%			0.0%				
			妊婦中の喫煙者数	9人		6人	0人				
			むし歯(う歯)のない者の割合(3歳児)	96.7%		95.7%	上げる				
			歯周ポケットの深さが 4mm以上の者の割合(40歳)	42.0%		38.2%	下げる				
		3 たばこ・アルコール対策の推進	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	成人	41.5%			上げる	・歯周病検診においては若年層(20・30歳)への個別受診勧奨や申込制み制検診のQRコードによる申し込み方法を継続し受診率の向上を図った。あわせて健康ガイドに記事を掲載し歯周病の啓発を図った。	・歯周病検診においては若年層(20・30歳)への個別受診勧奨や申込制み制検診のQRコードによる申し込み方法を継続する。	
				中高生	52.3%						
			児童・生徒における肥満傾向児の割合	小4男子	3.21%		2.39%	下げる			
				小4女子	0.88%		0.10%				
			BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合	22.6%		23.3%	下げる				
		4 歯と口腔の健康づくり	かかりつけ医がいる者の割合	53.9%			上げる				
			かかりつけ歯科医がいる者の割合	50.3%			上げる				
			かかりつけ薬局がある者の割合	24.5%			上げる				
2	健康づくりのための環境整備	1 総合的ながん対策の推進	がん検診の受診の割合(5がんを掲載)	胃がん	25% (22.5%)		未公開	上げる	・がん検診体制あり方検討会の検討結果を踏まえ、令和8年度以降の協議体制を整えた。 ・がん患者の支援では、検討会による協議において一定の方向性が定まりサポート事業の継続するとともに、仕事と治療の両立支援セミナーを実施した。	・健康づくり協議会で新たながん検診体制協議をすすめるとともに、がん相談サポート事業の進捗状況を確認する。	
				肺がん	0.7% (0.6%)		未公開				
				大腸がん	30.2%(13.8%)		未公開				
				子宮頸がん	9.0% (13.7%)		未公開				
				乳がん	10.6%(13.2%)		未公開				
		2 受動喫煙の防止に向けた環境づくり	調布市受動喫煙防止条例を知っている者の割合	51.7%		57.9%	上げる	・女性がんキャンペーンの実施や、がん通信や健康ガイドでがん検診に関する啓発を実施した。	・継続してがん通信や健康ガイド、キャンペーン等で指針に持つくがん及びがん検診の周知啓発を行う。		
			受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合	26.6%			下げる				
		3 生活習慣病と健康危機から市民を守る健康づくり	収縮期血圧140mmHg以上の者の割合	18.3%		18.9%	下げる	・受動喫煙防止に関する講座を小学校で実施するとともに、調布市医師会・歯科医師会・薬剤師会・市内企業・市民団体等の関係機関及び庁内各課と連携し、調布市受動喫煙防止条例や受動喫煙対策の周知・啓発を図った。	・小学生に向けた受動喫煙及び禁煙教育の拡大するとともに、引き続き調布市医師会・市内企業等と連携し、調布市受動喫煙防止条例や受動喫煙対策の周知・啓発を図る。		
			LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合	12.1%		11.4%	下げる				
			メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	27.5%		28.3%	下げる				
			HbA1c6.5%以上の者の割合	7.0%		6.6%	下げる				
			近所づきあいをしていない人の割合	9.9%		未公開	下げる				
		3	食を通じたこころからの健康づくり	1 食に関する理解の促進	朝食の欠食者の割合	21.7%			下げる	・食育月間・食生活改善普及運動月間において、公共施設等でののぼり旗の設置や野菜摂取促進オリジナルティッシュの配架を継続して食育の推進を図った。	・食育月間・食生活改善普及運動月間において、公共施設等でののぼり旗の設置や野菜摂取促進オリジナルリーフレットの配架を継続する。あわせて食育関連事業(食育講演会・食育セミナー等)を継続実施する。
					主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	35.3%			上げる		
					野菜不足と感じている人の割合	36.0%			下げる		
					減塩を意識している人の割合	29.8%			上げる		
					食事(夕食)が楽しい人の割合	73.2%			上げる		
				2 健康的な食生活の実践	食べ物を大事にする人の割合	64.1%			上げる	・市制施行70周年記念食育講演会を開催し、さかなクン氏を招き、幅広い世代や日頃関心の薄い層にも食育の推進を行った。また、例年実施している食育セミナー参加児童も講演会を聴講し、食の学びを深める機会とした。	
					食品ロスを減らす心がけとして食べ残しをしない人の割合	68.2%			上げる		
むせたり誤嚥したりしないように気をつける人の割合	16.9%					上げる					
食事のマナー(挨拶、箸使い等)を大切にする人の割合	34.0%					上げる					
意識的に調布産の農産物を購入している人の割合	32.6%					上げる					
3 食を通じた地域とのつながりの充実	郷土料理や伝統料理・行事食などを受け継いでいると感じている人の割合			60.0%			上げる				
	調布っ子食育マイスター認定者数			41人		20人	20人				

※令和6年度:グレー部分は意識調査・福祉ニーズ調査(令和7年度実施)で把握するため未把握
※がん検診の受診の割合(5がんを掲載):計画策定時から統計上の検診対象者の年齢が変更になっているため、現状値は今後()の数値を使用 令和6年度分は未公開
・胃がん:40歳以上→50～69歳 ・肺がん:40歳以上→40～69歳 ・大腸がん:40歳以上→40～69歳
・子宮頸がん:20歳以上→20～69歳 ・乳がん:40歳以上→40～69歳